

一般財団法人「市川森一脚本賞財団」

平成 25 年度（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）事業報告

- ・ 4 月 9 日（火）14 時、NHK 放送センターの記者クラブで、第 1 回市川森一脚本賞受賞者の発表、大島里美の会見が行われる。受賞対象作品は、NHK 名古屋制作の「恋するハエ女」（29 分枠・連続 6 回）。
- ・ 4 月 22 日（月）17 時半、千代田放送会館で第 1 回の受賞式が開かれる。授賞式後、大島里美を囲んで、俳優の笈利夫、制作の土屋勝裕、演出の福井充広、東山允裕らで、ミニトークショーを開催、番組の制作秘話が語られる。引きつづき、祝賀パーティーが開かれる。参加者は 200 名。
- ・ 4 月 24 日（木）18 時より、長崎県立博物館で、市川森一脚本賞受賞記念祝賀会実行委員会による、受賞記念祝賀会が開催され、受賞者トークセッション（大島里美、俳優・ミムラ、制作・土屋勝裕、演出・福井充広、東山允裕）が開かれる。引きつづき 19 時より、祝賀パーティーが開かれる。参加者は 180 名。
- ・ 6 月 20 日（木）16 時、千代田放送会館で、第 3 回理事会が開かれる。松本貢一理事が退任し、藤本宏樹理事に代わる。続いて平成 24 年度事業報告、同決算並びに監査報告が承認される。他に、会員呼称の変更（「設立会員」を改め、個人は「会員」、企業団体は「賛助団体会員」とする）が承認される。6 月の定時評議員会は、文書配布による書面審議により、理事会報告が承認される。
- ・ 12 月 12 日（木）10 時、千代田放送会館で、第 4 回理事会が開かれる。25 年度の事業計画の進捗状況と第一次の決算見込みが報告される。
- ・ 1 月 27 日（月）14 時、事務局で、選考委員長菅野がリストアップした脚本賞候補者 9 名を、理事の高橋、渡辺らで合議の上、以下の候補者 7 名に絞る。
 - 浜田秀哉「ラストホープ」（CX、全 11 回）、
 - 櫻井智也「ただいま母さん」（NHK、単発）、
 - 山浦雅大「35 歳の高校生」（日本テレビ、全 11 回）、
 - 金子茂樹「SUMMER NUDE」（CX、全 11 回）、
 - 松本美弥子「こうのとりのゆりかご～“赤ちゃんポスト”の 6 年間と救われた 92 の命の未来～」(TBS テレビ、単発)、
 - 徳永友一「船の上の診療所」（CX、全 11 回）、
 - 武井彩「家族の裏事情」（CX、全 11 回）、
 また、選考委員の内山聖子（テレビ朝日）が業務繁忙のため選考委員を辞退され、TBS テレビの今井夏木に選考委員を委嘱。
- ・ 2 月 3 日（月）18 時 30 分、事務局で選考準備会を開く。倉内均（アマゾンテルナ）、次屋尚（日本テレビ）、森安彩（共同テレビ）、今井夏木が出席。脚本賞の趣旨と選考方法のすりあわせをする。

- ・ 3月20日（木）18時、千代田放送会館で選考会を開き、慎重審議の結果、第2回の受賞候補者が浜田秀哉に内定。受賞対象作品は、フジテレビ制作「ラストホープ」（2013年1月期～火曜9時、全11回）。
- ・ 3月25日（火）10時より、第5回理事会を開き、26年度の収支予算案と事業計画案の説明および、第2回脚本賞の審査経過報告が承認され、浜田秀哉が受賞者と決まる。さらに受賞式とパーティーおよび長崎祝賀会の概要が報告される。

<平成26年度>

- ・ 4月8日（火）14時、NHK放送センター内の記者クラブで、第2回受賞者の発表と浜田秀哉の会見が行われる。
- ・ 4月17日（木）17時30分、千代田放送会館で受賞式が開かれる。受賞対象作品に出演した高嶋政宏、制作の成河広明、演出の葉山裕紀が出席。浜田秀哉を囲んで制作秘話が語られる。引きつづき祝賀パーティーが開かれる。参加者は180名。
- ・ 5月13日（火）16時30分、片山安夫監事による会計監査が行われる。
- ・ 5月21日（水）、長崎の市川森一脚本賞受賞記念祝賀会実行委員会により、18時から、長崎県立博物館で、受賞記念長崎祝賀会の「受賞者トークショーセッション」（受賞者の浜田秀哉、プロデューサーの古屋建自、演出の葉山裕紀）が開かれる。参加者は115名。引き続き、19時から、会場をホテルセントヒル長崎に移して、パーティーが開かれる。参加者は120名。

（敬称略）